

2023年11月19日

『俳優・劇作家・演出家・製作者に向けたLGBTQ勉強会』についてのお知らせ

『俳優・劇作家・演出家・製作者に向けたLGBTQ勉強会』は、2024年11月をもって終了いたします。

この勉強会は、映像/舞台芸術領域で就労している方々に向けて、LGBTQの基礎的な知識や日本の現状、演劇や映像の現場における就労環境などについてお話する場として、俳優の和田華子が企画・開催しているものです。

作品を創作する上で、観客・視聴者にもLGBTQ当事者が存在しており、また創作現場にも当事者が存在している事を作り手が認識すること、そのために基礎的な知識を有しておくことはとても重要です。この領域に就労している人々が性的マイノリティの基礎的な知識や周辺状況についての知識を得る場が必要との考えから、2019年秋にこの勉強会を始めてそろそろ四年が経ちます。

当初は知人・友人を中心に開催してきたこの勉強会も、有り難いことに今では作品創作の座組や、演劇を教える立場の人々に向けて、学校や劇団だけでなく個人単位でもお声がけ頂けるようになりました。しかし反面、「いつか行けたら行く」と、私が勉強会をずっと続ける前提で学びを後回しにされることも多く、終わりの見えなさに疲弊しつつあるのも事実です。

私はとりわけ、制作の現場で決定権を持つ立場である年長の世代や、LGBTQについて学校で習う機会がなかった世代、教育者として学生と関わる立場にある方々にこうした問題意識を届けたいと思い、勉強会の活動をしてきました。また、自分はずでにLGBTQへの理解が十分であるから自分には関係ないと思っている人々にもアップデートを促したいと思ってきました。しかし当初目指したように、それらの人々に勉強会が広まり、理解してもらえたかという、難しかったと言わざるを得ません。

また、「勉強会を行うことで、俳優としてのあなたには色がついた、だからもう第一線で活躍する事は無理だから啓蒙活動の方をよろしく」と同業の俳優に言われ、深い徒労感を覚えたこともありました。

私の本業は俳優です。勉強会も、まず私自身が俳優として、安心して創作に取り組むことのできる環境を切実に必要としたところから始めました。つまりこの活動は、「勉強会をやらなくて済むようになる」ために始めたのです。いつまでも、とりわけ自分一人が前に出るような形で、時間とエネルギーを割き続けることはできません。そのため、この勉強会を終了する期限を決めることにしました。

くり返しになりますが、私の勉強会のゴールは、「この会をやらなくて済むようになる」事です。それは勉強会の中で話している基礎的な知識がこの業界に就労している多くの方に浸透し、就労環境の改善が図られ、勉強会を行うことが意味をなさなくなる日が一刻も早く来る事を指します。

「いつかそうなってほしい」という漠然とした願望ではなく、当事者の心理的な疎外感を取り払い、差別や心無い言葉や態度に傷つかない環境が、実務的な側面で一刻も早く整備されるべきです。私は、創作現場に身を置く人々が、性的マイノリティの直面する様々な問題を自分事として捉え、ご自身とその周りの環境をよりよいものにすることで、さらに良い作品を生み出していけると信じています。

ここ数年で、作品創作に向けての下調べを手近な当事者に聞いて済ませるのではなく、性的マイノリティについての知識を持った専門家を創作序盤からチームに加え、必要な研修などを実施する創作現場も増えてきました。近年、着実に見られるようになったこうした試みをもっと根付き、当たり前ものとなってほしいと思っています。

この勉強会は、お声がけ頂ければ、個人でも団体でも、オフライン／オンライン問わず開催いたしますが、私自身が主催する形での開講を行っておりません。それは、この問題は、私だけが頑張らなければならない問題ではないと考えているからです。

2024年11月までは、本業に支障の出ない範囲で開催を受け付けておりますので、必要な場合はホームページからお声がけ頂ければ幸いです。

<https://www.hanakowada.com/勉強会のしごと>

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

和田華子